

令和2年度 あおいこども園 こども園自己評価結果

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」第1章総則第2節1(4)に基づきこども園の自己評価が位置づけられています。

自らの教育・保育実践と子どもの育ちを振り返り、自己評価を行います。その結果を、次の教育・保育に向けて改善を図り、教育・保育の質を向上させることを目的とします。

【評価方法】

22項目の設問を基に日頃の保育を振り返りながら、職員一人一人が自分のことを自己評価します。22項目の設問には、さらに各項目ごとに5つの設問があります。職員全員の評価を数値化することで、園全体の課題として振り返り、今後のよりよい保育環境づくりに努めます。

A.他の保育教諭に指導できる B.自らの力のできる C.指導されればできる D.まだできていない

内容	達成度	意見・改善策
①社会人として意識をもち、組織について理解し行動しているか	84%	1. 職務上知りえた事実や職員間の問題を園内で他言していないか 2. 同僚の身だしなみについて意識しているか 3. 時間前行動を心がけているか 4. 健康であるように自己管理をしっかりとしているか 5. 相手に好印象を与える身なり(服装・髪型・清潔感を保つなど)をしているか
②あいさつや言葉遣いなどの正しい基本行動を実践しているか	81%	1. 関わるすべての人たちに、気持ちのよい挨拶ができていないか 2. 相手や状況に応じて尊敬語・謙譲語・丁寧語を正しく心使い分けられているか 3. 社会人として礼儀正しい対応と言葉使いができていないか 4. どのような時でも、はっきりとした挨拶や返事を心がけているか 5. 子どもに挨拶の大切さを伝えているか
③書類提出期限の遵守や報告義務の遂行等、組織人の基本的対応ができていないか	73%	1. 机の上、机の中やロッカーはいつも整理整頓され、必要な書類は常に分離整理されているか 2. 報告は①結論②経過③私見(自分の意見)を明確に区別し順に述べているか 3. タイミングよくこまめに中間報告ができていないか 4. 園の物品の場所を把握しているか 5. 限られた人物・お金と時間で、最良の結果を出そうと取り組んでいるか
④適宜適切に連絡・相談するなど、迅速な問題の解決に貢献しているか	82%	1. 伝えた「つもり」で終わらず、5W1Hで確認し連絡しているか 2. 連絡の必要性を相手の立場で考えているか 3. 連絡を受け取った際は、その情報をしっかりと活用しているか 4. 疑問点は上司・先輩・関係者に相談しているか 5. 連絡を受けた際は、その情報を活用しているか
⑤職場のコミュニケーションに配慮し、良好な人間関係の構築に努めているか	81%	1. 自分の考えや意見を周囲に分かりやすく伝えているか 2. 相手からの指摘、アドバイスに耳を傾け、できることは行動に移しているか 3. 相手を尊重しようと努めているか 4. 自分から心を開き、相手に話しかけているか 5. 自分が困っている時は、相手に状況を確認して協力を求めているか
⑥チームワークの重要性を理解して行動しているか	83%	1. チームワークの重要性を正しく理解しているか 2. 子どものことを考えるにあたり、職員同士が共通の意識をもっているか 3. 「ありがとう」の気持ちをもって常に行動しているか 4. 仕事の任される範囲が日々広がっているか 5. 職場の中での自分の立場を理解し、行動しているか
⑦職務に創造的態度で向き合い、新しい事柄への能動的な取り組みをしているか	75%	1. 仕事や任務のプライオリティ(優先順位)を考え、工夫して効果的に取り組んでいるか 2. 人の相談に偏りなく、耳に傾け、一緒にかんがえているか 3. 過去の成功体験に頼らず、新しいことに挑戦する勇気と行動力をもっているか 4. 園や自分にとってプラスになる情報(アンテナを張り巡らせて)得ようとしているか 5. 新しいことにチャレンジする行動力が備わっているか
⑧子どもの情緒の安定に配慮して行動ができるか	78%	1. 職員が一方的に保育を進めていないか 2. 一人ひとりの思いや姿、言葉を受け止めながら保育を展開できているか

		<ul style="list-style-type: none"> 3. 子どもに安心感や落ち着きをもたらす環境づくりができていますか 4. 職員自身があたたかい雰囲気づくりを心がけているか 5. 担当の保育室、教室内にとどまらず、園内の環境に目を向けて整えようと努めることができていますか
⑨子どもに対し、あそび・その他の活動への関心を高められる環境の設定が理解できているか	74%	<ul style="list-style-type: none"> 1. 子どもと一緒に楽しみながらあそびを展開させているか(人的) 2. 子どもの興味・関心・発達に合わせたコーナーづくりをしているか(物的) 3. 子どもが行事に意欲的に取り組めるよう努めているか 4. 絵本や紙芝居、手遊びで子どもを引き付けることができていますか 5. 経験させてあげたい遊びに対して、様々な角度から子どもの予想される姿を考え保育を進めているか
⑩子どもの人権に配慮した言動ができていますか	77%	<ul style="list-style-type: none"> 1. 一人ひとりの違いを大切にし、個性を尊重した保育を意識しているか 2. 子どもが自分の思いや考えを言える環境をつくっているか 3. 子どもの人権についての知識を持ち、愛情をもって一人ひとりの子どもに向き合うことができていますか 4. お互いを尊重する心を育てるため、子どもが友だちの気持ちや発言を受け入れているか 5. 性差への先入観による見解や役割をさせないように配慮した保育を行っているか
⑪子どもの表現力を養う関わりができていますか	77%	<ul style="list-style-type: none"> 1. 表現活動について求められている援助を正しく理解できているか 2. 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、創造性を養っているか 3. 職員自身が楽しめているか 4. 「子どもと楽しみたい」という気持ちをもっているか 5. 年齢や興味・発達に応じた手遊び、伝承遊び、リズム遊びを保育に取り入れているか
⑫保育活動における受容の態度について理解し、実践しているか	73%	<ul style="list-style-type: none"> 1. 子どもの接し方について、独りよがりにならず、相談・話し合いをし、振り返っているか 2. 子ども一人ひとりの家庭環境や心身の状態、発達過程を把握しているか 3. 禁止する言葉や否定する言葉を言わないようにしているか 4. 子どもの思いを受け止めているか 5. 保護者にスキンシップの大切さを伝えているか
⑬子ども一人ひとりに対応できる保育をおこなっているか	76%	<ul style="list-style-type: none"> 1. 子どもの動きから出るサインを見逃していないか 2. 子どもが安心できる関わりができていますか 3. 欲求・単なる甘え、必要な甘えの区別ができていますか 4. 子どもの話したい気持ちや伝わった時の喜びを共感しているか 5. 子どもに対して、どのような場合には静かに見守っていかなければならないかを正しく理解した上で、子どもとの関わりができていますか
⑭子どもの発達、成長を理解した保育を行っているか	74%	<ul style="list-style-type: none"> 1. その子の取り巻く環境まで目を向けているか 2. 個人差を理解し、発達を見極め、年齢や興味にあった活動を取り入れているか 3. クラスの発達段階を担任同士で共通理解できているか 4. 達成のみにとらわれず、子どもの年齢に合った能力を把握し、遊んでいる途中段階に目を向け援助しているか 5. 戸外や遊戯室での活動・遊びを工夫し、人数と空間で意識した保育を行っているか
⑮園外保育における留意点を理解し、保育ができていますか	77%	<ul style="list-style-type: none"> 1. 園外保育に出かけるときは、下見や事前打ち合わせ等十分準備し、安全で楽しい保育になるように努めている 2. 交通指導で危険から身を守るために具体的場面を捉えながら知らせ、瞬発力・機敏性・集中力などがついていくよう指導しているか 3. 人数確認を度々行うなど、子どもの安全面に常に配慮しているか 4. 活動の目的を伝え、子どもが自然に気付き、遊びに取り入れたり、できるように配慮しているか。また、職員自身も一緒に楽しんで参加しているか 5. 社会のマナーを理解し、子どもに伝えているか
⑯食育の実践としての保育現場での働きかけができていますか	70%	<ul style="list-style-type: none"> 1. 見本となる食事のマナーを示しているか 2. 食事はおいしく、美しくいただき、そして楽しく食べる雰囲気をつくっているか 3. 栽培活動の意図を理解しているのか 4. 食物に関心が持てるような環境をつくっているか

		5.職員だけでなく、栄養士、調理員、及び家庭との協力体制の中で食育を進めているか
⑪健康管理やけが防止などの、安全管理に関する行動ができていますか	7.8%	1.年齢や個々に応じた生活習慣の自立へ愛情をもって援助しているか 2.アレルギー疾患の子どもを把握し、状況に応じた対応ができていますか 3.年齢別発達特徴を捉え、安全な環境設定ができていますか 4.ケガにつながった状況を把握し、再び起こらないよう改善策をとっているか 5.職員だけでなく、栄養士、調理師、及び家庭との協力体制の中で食育を進めているか 6.子どもに適切な指導を行えているか
⑫気になるお子様の保育、障害児保育について理解し、実践しているか	7.4%	1.書物を読んだり、研修会に参加したり、先輩に相談するなど積極的に学ぼうと努めているか 2.「虐待を受けているかもしれない」と感じたら、園長・副園長、または主幹に相談するように努めているか 3.職員間の共通理解のもと、適切に援助ができていますか 4.障がいについて理解し、その子に合った関わりがもてているか 5.家庭との連携を密にし、保護者との相互理解をはかっているか
⑬保護者に対する適切な支援とはどのようなものかを把握し、実行しているか	7.8%	1.家庭や育児の状況や問題点などを理解しながら対応できているか 2.子どもの姿を把握し、変化に気付くことができていますか 3.子育てや就労を支えるために保護者の気持ちに配慮しながら接しているか 4.どの保護者にも笑顔で敬語を使って話し、平等に接しているか 5.保護者の気持ちを素直に受け止めているか
⑭苦情解決などの困難なコミュニケーションに向き合い、保護者と信頼関係を構築できているか	7.3%	1.保護者などに対し、一貫性のある伝達をしているか 2.トラブルやアフターケアには誠意をもって対応しているか 3.保育のプロとして、必要に応じた適切なアドバイスができていますか 4.保育のねらいや園の方針について、説明責任を果せているか 5.保護者が育児の悩みや心配事を相談できる信頼関係を築くように努力しているか
⑮地域社会との連携や子育て支援事業について理解し、必要な役割を担うことができていますか	6.4%	1.小学校・公共施設の交流事業を理解しているか 2.地域における園の役割を理解しているか 3.積極的に地域行事に参加・協力しているか 4.園児が住む地域環境を知り、地域性を理解しようとしているか 5.園庭開放など、園に訪れた方と会話することができていますか
⑯指導計画等を適切に策定し実行に反映するなど、計画的な保育が実践できているのか	7.1%	1.見通しを持って保育に取り組み、必要な素材などをねらいに応じて考えたり、事前に準備できているか 2.年齢別保育、異年齢保育の中で育つもの、大切にしたいことなどを理解し、保育できているか 3.保育の計画を作成する際は、保育過程に基づき、子どもの生活する姿や発想を大切にして、適切な環境を構成し、子どもが主体的に活動できるよう配慮しているか 4.保育を通して、自己評価したり、第三者のアドバイスを取り入れ、専門性の向上や保育実践の改善に努めているか 5.効率よく仕事を進められるような計画をたて、実行しているか

【保育教諭の自己評価総評】

上記の自己評価結果に基づき、園全体で評価・反省を行いました。全体的にすべての項目において、7割以上達成できているとの結果になっています。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、様々な行事や教育・保育内容が縮小されました。そのような状況の中で、子どもたちが今まで以上に楽しめるよう、工夫を凝らした内容で実践できたことが職員一人ひとりの自信につながったようです。その一方で、地域との交流が十分にできなかったとの反省が多くあり、その項目については、64%と達成度も低くなっています。これまで構築してきた地域との連携について不安を感じている職員が多かったです。このような状況の中でも子ども園としての役割についてしっかり果てせるよう、園内外研修を通して幼児理解について基本から学び、一人ひとりの個々への配慮について振り返ること、発達段階に即した教育・保育指導計画に沿った実践など職員全体のスキルアップにつなげました。さらに子育て支援については、子ども同士の交流に制限がある中でもできる範囲内で対応できたことも自園の自信につながったという意見がありました。また、育児相談件数が増えたことで、保護者やその子どもたちの安定につながったのではという評価もできます。令和2年度は、職員間で話合う時間が多くもたえたことによって、コミュニケーションの大切さを改めて感じた年になりました。それぞれの自己評価の内容については、専門性である職業としての意識をもって取り組んでいます。指導する側のベテラン職員と3年未満の職員との職員間のチームワークもよいことが評価できます。

年度末2月に実施した保護者アンケートの結果やご意見を今後の参考として、今後ともよりよい園づくりを目指して精進していきます。